

メタ認知尺度作成の試み

—後悔状況における適応的行動との関連性の検討—

○室町祐輔¹・上市秀雄²

s1420492@sk.tsukuba.ac.jp

¹筑波大学大学院システム情報工学研究科・²筑波大学システム情報系



メタ認知(metacognitive)とは
「人の学習をもたらす、理解し、かつコントロールする能力」である
(Schraw & Dennison, 1994)

・メタ認知能力は後悔状況における**適応的行動の促進**と
関連があり、メタ認知能力が高いと、適切な手段を効果的に
使うことができると同時に、自分の行動や考えを改善できる
(室町・上市, 2014)

適応的行動とは「人がなにかを経験した後、
その経験を生かし、その後の行動をより良い方向に改善すること」

研究目的

メタ認知能力を測定するために新たにメタ認知尺度を作成し、
様々な後悔状況で**メタ認知能力と適応的行動の関連性**を検討し、
作成したメタ認知尺度の信頼性と妥当性について検証する

方法

- 調査対象: 関東地方の大学生109名(男性84名,女性25名)
- 調査時期: 2015年4月に質問紙を配布・回収

質問項目:

メタ認知尺度(5段階評定 1:あてはまらない~5:あてはまる)
> 室町・上市(2014)を参考に、29項目を因子分析し、3因子を抽出(Table 1 参照)
分析には各因子の下位項目の合計値を用いた

後悔状況

> 後悔状況は、上市・楠見(1998)を参考に、受験の失敗(無理に第一志望を受験)、
交通事故に遭う(歩行中)、自転車の盗難、スキーにおける怪我(スキー中の事故)、
パチンコでの負け、会社からのリストラの**6状況**を用いた

適応的行動

(5段階評定 1: あてはまらない~5: あてはまる)
> 各後悔状況に**適応的行動項目**(思慮深さ6項目,悪い出来事への耐性3項目)を作成
分析にはそれらの下位項目の合計値を用いた

分析: メタ認知尺度と適応的行動の下位項目合計値による相関分析を用いた

後悔状況ごとの適応的行動に対する質問内容(例:受験の失敗)

・あなたがセンター試験の結果が悪かったにもかかわらず、
第一志望を受験して不合格になったとします。
その後のあなた自身の考えがどのようになると思いますか？

適応的行動

<思慮深さ 6項目>

- 成功した場合と失敗した場合を考えて、行動するようになると思う
- 先の状況まで考えて、行動するようになると思う
- 一時の気分や感情に左右されないようになると思う
- 常に、自分の行動を客観的に見直すようになると思う
- 小さなリスクにも注意するようになると思う
- 自分にミスがあったとしたら、
大事につながらなくても、自分のミスをよく反省するようになると思う

<悪い出来事への耐性 3項目>

- 悪いことが起きても動じなくなると思う
- 予測が困難である場合は、その結果についてあまり気にしなくなると思う
- 小さなことにはあまりこだわらなくなると思う

結果

Table 1 メタ認知尺度の因子分析結果(最尤法, プロマックス回転)

	第1因子	第2因子	第3因子
第1因子: モニタリング6項目(省察: 人に学習をもたらすために必要な能力)($\alpha=.789$)			
自分のとっている方法がうまくいっているか、分析している	.878	.043	-.098
自分の行動が結果にどう影響するかを、考えている	.735	.057	-.143
自分なりの答えを出す前に、別の答えについても検討している	.644	-.172	-.004
今の行動がうまくいっているかどうかを評価し、さらに結果が出た後に再度自分の行動を評価する	.593	-.007	.054
考えられる選択肢をすべて考慮したかどうか、自問する	.460	-.159	.258
自分は、今、何をすればよいのかを把握できている	.418	.085	.113
第2因子: コントロール4項目($\alpha=.656$)			
複雑に見える問題でも、単純な問題としてとらえなおす事ができる	-.082	.965	-.095
何らかの問題を解決するときには、「いつ、どこで、何を、どのようにすればよいか」などについてよく考える	.265	.440	.220
初めて聞く情報や知識は、自分の分かりやすいように置き換えて、身につくように工夫している	.060	.428	.109
考えがまとまらないときは、今までの考えを白紙に戻して新たに考え直す	-.087	.369	.000
第3因子: メタ認知的知識4項目(自己理解)($\alpha=.700$)			
自分が、何が得意で、何が不得手かをわかっている	-.031	-.080	.745
自分の興味があることについては、より深く学んでいる	-.106	.122	.656
他人の経験をうまく参考にできる	.016	.009	.589
自分の精神状態をきちんと把握できる	.078	-.012	.433
因子間相関			
	第2因子: コントロール	.348	
	第3因子: メタ認知的知識	.335	.300

Table 2 メタ認知尺度と適応的行動との相関

	モニタリング	コントロール	メタ認知的知識
受験の失敗			
思慮深さ	.329**	.226*	n.s.
耐性	n.s.	n.s.	.250*
交通事故			
思慮深さ	.226*	n.s.	n.s.
耐性	n.s.	n.s.	.220*
自転車の盗難			
思慮深さ	.268**	.226*	n.s.
スキーにおける怪我			
思慮深さ	.243*	.244*	n.s.
パチンコでの負け			
思慮深さ	.215*	.215*	n.s.
会社からのリストラ			
思慮深さ	.301**	.286**	n.s.
耐性	n.s.	n.s.	.215*

* $p < .05$ ** $p < .01$

まとめ

メタ認知尺度の信頼性と妥当性

信頼性: メタ認知尺度の各因子のクロンバック α 係数を求め、そのすべての項目で概ね良好であった(Table 1)

妥当性: メタ認知尺度の各因子の下位項目合計値と、
6つの後悔状況における適応的行動の各下位項目の合計値との間に**相関がみられた**(Table 2)

- ・モニタリングは6つの後悔状況すべてで思慮深さと相関
- ・コントロールは4/6状況で思慮深さと相関
- ・メタ認知的知識は3/6状況で耐性と相関

メタ認知尺度の信頼性と妥当性は高い

メタ認知能力は適応的行動の促進に重要である可能性あり

参考文献 上市・楠見(1998) 損失状況におけるリスク行動の個人差を規定する要因, 日本リスク研究学会誌, 10(1), 65-72.
室町・上市(2014) 後悔対処メタ認知が後悔・対処法・適応的行動に及ぼす影響, 日本心理学会第78回大会発表論文集, 1EV-1-099.
Schraw & Dennison, R.S. (1994) "Assessing metacognitive awareness, Contemporary Educational Psychology, 19, 460-475